

2014年11月21日

ケアプロ株式会社

地域ヘルスケア産業支援ファンドを割当先とした

第三者割当増資を決定

ケアプロ株式会社（東京都中野区：代表取締役 川添高志）は、本日、地域ヘルスケア産業支援ファンド（以後、本ファンド）を割当先とする第三者割当増資を決定致しましたので、お知らせいたします。

▼地域ヘルスケア産業支援ファンドについて

「地域ヘルスケア産業支援ファンド」は、政府系投資会社の地域経済活性化支援機構（東京都千代田区）が、ファンド運営子会社の REVIC キャピタル（東京都千代田区）と経営コンサルティング企業の AGS コンサルティング（東京都中央区）を運営者として、医療・介護や健康産業に投資するために、2014年9月1日地方銀行5行など、計23億5000万円の共同出資を受けて設立したファンドです。

2014年6月に閣議決定された『日本再興戦略』改訂2014では、資金や経営ノウハウを提供し、地域のヘルスケア産業の創出・拡大を図るためのファンドを年内に創設する旨が盛り込まれ、本ファンドが設立されました。地域におけるヘルスケア産業の育成を目的に、全国の医療機関や介護事業者のほか、検診やバイタルデータの活用といった医療・介護の周辺事業を行う企業なども投資対象としています。同機構はこれまでに10件以上の病院再生を手がけており、こうした事業に携わった人材を投入し、経営ノウハウも提供していくとしています。

▼今後の事業展開について

政府の成長戦略において、弊社の「予防医療事業（セルフ健康チェック）」および「在宅医療事業（24時間訪問看護）」は、重要な事業領域となっております。政府系ファンドである本ファンドからの後押しを得ながら、事業展開を加速させ、医療界の課題解決のスピードアップを図ります。

2015年1月に駅構内で初となる常設の検体測定室「小田急ケアプロ登戸店」のオープンを皮切りに、今後5年で駅ナカや商業施設等へ50店舗の検体測定室の出店を計画しております。そして、通勤・通学・買い物の途中に「ちょっと立ち寄り、ちゃんと健康」を実現することで、生活習慣病の予防と医療費削減に貢献してまいります。

さらに、我が国のヘルスケア産業の活性化により、雇用創出やファンドに対する経済的リターン、将来的には海外展開などを通じて、我が国の経済に対しても更なる貢献をしてまいります。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

ケアプロ株式会社 グループ統括 本間・中澤

【電話】 03-6382-4377 【メールアドレス】 info@carepro.co.jp

ケアプロ株式会社

ケアプロ株式会社

〒164-0011 東京都中野区中央 4-1-1 中央ハウス B2

代表取締役社長：川添 高志（かわぞえ たかし）〔看護師・保健師〕

<http://www.carepro.co.jp>

理念

革新的なヘルスケアサービスを提供して健康的な社会づくりに貢献する

備考

東京大学 医療政策人材養成講座 優秀成果物 特賞を受賞

慶応義塾大学 SFC Entrepreneur Award 2007 The Best New Market Award を受賞

第1回社会イノベーター公志園 審査員特別賞を受賞

次代を創る 100人（日経ビジネス 2011.10.31号）に代表川添が選出

日本を救う中小企業 100社（Newsweek 日本版 2011.12.07号）に選出

日本を立て直す 100人（AERA 2012年1月2・9日合併増大号）に代表川添が選出

CSRをビジネスで具現した日米欧 81人（オルタナ 28号 2012.03.31発行）に代表川添が選出

アショカ・フェローに代表川添が選出

「日経ソーシャルイニシアチブ大賞 2013」国内部門賞に選出

医療の質・安全学会主催 第8回「新しい医療のかたち賞」受賞